



#### ダスキン海外研修派遣事業 壮行会

(公財)ダスキン愛の輪基金の障害者リーダー育成助成を受け、ポルケのチームは今年度イタリアへ赴きます！

世界に先駆けて精神科病院の脱施設化が行われたイタリアにおける精神障害のある人たちの暮らしや地域支援について、障害者団体や支援機関を中心にフィールドワークを行う予定です。

大阪にあるダスキン本社で壮行会が行われました。関係者や先輩たちからいただいた温かいエールを背に頑張ってください。(2024.3 大阪府吹田市)

#### 当事者交流「お話会」

精神障害のある人を対象にした「お話会」を月例で開催しています。少人数の当事者同士だからこその安心と共感ができる場にあなたも参加しませんか？

普段なかなか、言いにくいようなこと、時には日頃感じる思いを言葉に紡ぐ場となっています。その場での言っぱなしもOKです。「また来たい！とみんなが思える場に。」仲間の時間と気持ちを大切にいただける方の参加を歓迎します。参加費は無料です。

実施日など企画の詳細についてはお問い合わせください。

#### 「ふだんからの防災」映像ワークショップ資料完成

精神障害当事者会ポルケでは、様々な学習活動や国立精神・神経医療研究センターと協働した東日本大震災や熊本地震などの被災経験のある精神障害のある人や支援者への調査活動等を通じた知見をもとにして、精神障害のある人の防災・減災のエンパワーメントを目的にした啓発プロジェクトを本格化させています。今年度は(公財)麒麟福祉財団「麒麟・福祉のちから開拓事業」助成を受け、「ふだんからの防災」をテーマにした量的な調査や防災ワークショップを行うための映像資料の製作などに取り組みました。精神障害のある仲間たちが被災した経験から得た“経験知”に注目し、当事者の経験や立場を重視し取り組んできました。

3月24日には大田区立消費者生活センターにて、「当事者と一緒に防災力アップ！～持続可能な精神障害のある人の包括的災害対策支援ツール開発事業成果報告会」と題した企画を開催し、オンラインを含めて50人近い当事者や支援者、地域の防災活動に取り組む関係者など多様な立場のある方々にご参加をいただきました。現在、制作した映像資料コンテンツのレンタルを行っています。地域団体や福祉事業所などで、防災ワークショップの開催や防災・避難訓練のお手伝いができますと幸いです。申し込みの詳細については、ホームページからお気軽にお問い合わせください。



「ふだんからの防災—精神障害のある人の経験から学びあおう—」  
映像資料PR動画



## 合理的配慮についての職員研修(土浦市)

4月1日に改正障害者差別解消法が施行され、民間事業者についても障害の合理的配慮の提供が努力義務から法的義務となります。法改正をきっかけに、民間事業者や行政などで研修の実施が増えています。3月22日、茨城県土浦市での職員研修に講師の役割をいただく機会がありました。見えない障害とされる精神障害のある人が合理的配慮を求めるとき、当事者の側から自分の障害を明らかにして配慮を求める立て付けになっていることでの困難さなどについてもお話ししました。

各地での研修に障害者団体の参画が求められています。その中で土浦市が精神障害に着目されたことを嬉しく思います。当日の研修の様子は、ポルケ写真展企画でもご協力をいただいた「NEWSつくば」の柴田大輔さんに取材をいただきました。(写真提供：柴田大輔さん)



## 月刊 精神科看護2024年4月号



信州大学の精神看護クラスの下里さんや木下さんと協働しているプロジェクトの続報を掲載いただきました。シラバスの策定からの当事者参画を行い、今年度はより本格化を迎える予定です。「信大×ポルケモデル(仮称)」ぜひ引き続きご注目ください。(精神看護出版)



## ネットワーク会員 入会募集中!

- ◎年会費◎
    - ・個人会員 3,000円
    - ・法人団体会員 1口5,000円から
  - ◎お振込み先◎
    - ・ゆうちょ銀行
- 種類：普通  
名義：シャセイシヨウガ イウツ シヤカボ ㈱  
記号：11390 番号：00258321  
・ゆうちょ銀行以外からの振込み  
店名：一三八 口座番号：0025832

## 団体連絡先(発行者)

mail in.porque@gmail.com  
web https://porque.tokyo/

一般社団法人精神障害当事者会ポルケ  
代表理事 山田悠平

QRコードから団体HPにアクセスできます



## 日本社会精神医学会シンポジウム登壇

3月15日、東北医科薬科大学小松島キャンパス(宮城県・仙台市)にて開催された第42回日本社会精神医学会のシンポジウム「誰一人取り残さない防災・減災に向けて～精神障害当事者の経験知・支援者の専門知による共同創造のこれから～」に代表理事の山田と理事の相良が登壇しました。

山田からは「精神障害のある人の被災経験の調査活動に基づいた今後の防災・減災のありかたについて」と題し、相良からは「熊本地震時の取り組みから考える精神障害者を包摂する平時からの防災のあり方」と題した話題提供をそれぞれ行いました。提唱した経験知と専門知の共同創造によるフレームワークモデルの可能性などに関して、ほかの登壇者やフロアーのみなさんと議論をする機会もいただきました。

